



4月から 学校給食費を統一 小学校4万1,900円 中学校4万7,600円 経理は公会計で

市は、これまで各自治区で異なっていた学校給食費を見直し、平成20年度から市内同一料金にします。金額は、小学校が4万1,900円、中学校が4万7,600円（いずれも年額）です。また学校給食の会計処理方法を公会計に統一します。4月から変更されるこれらの内容についてお知らせします。

給食費、会計処理方法を統一

合併前の旧5市町村の学校給食は、調理場の運営形態・体制・給食の年間実施回数などの違いから、給食費と会計処理方法が異なっていました。

合併協議会は「給食の地域格差の是正」「子どもたちへの給食提供の公平性」「同じレベルの給食の同一価格での提供」を基本的な考えとし、よりよい学校給食を拡大・推進し、子どもたちの食育の充実を実現していくため「学校給食の給食費は、平成20年度をめぐりに統一する」としました。また、会計処理方法については「公会計に統一する」と決定しました。

なぜ公会計にするの

20年度から学校給食の会計処理方法は、公会計に統一します。

本年度までの会計処理方法は、各自治区が合併前の取り扱いを引き継ぎ、水沢区・胆沢区・衣川区が公会計で経理を行ってききました。合併協議の決定事項であった公会計については、そのメリットとして

- ◎品質や数量など、安定した給食の供給
- ◎会計が一括で管理できるため事務の効率化・効果的な処理につながる
- ◎保護者の給食費負担の公平性の確保

安心・安全な学校給食を提供するために

市は、給食の設定基準目標「安心安全な食材を使用しての学校給食実施」に基づき、地産地消の方針で安心安全な食材の確保に努めます。

【主食について】

- ①米は、100%奥州市産。パン・めんは、県内産の小麦を3割、輸入小麦を7割混合したものを使用
- ②米飯給食を週4回、パンまたはめん給食を週1回実施

【食材は旬の国内産を努めて使用】

- ①地場産物の利用が基本。次に県内産か国内産を使用

【調味料の吟味】

- ①天然だしの煮干・コンブ・厚けずりなどの使用で味覚形成に努める
- ②遺伝子組換え食品は使用しない
- ③各添加物などは「不必要な食品添加物」の定義を明確にし、食品衛生法や日本農林規格に適合している食品であっても「不必要な食品添加物」が含まれる食品はできるだけ避ける

【給食の1食単価は、文部科学省「学校給食の食料構成」による基準量から18年度食料構成毎の支払い金額から計算したものである】

給食大好き（人首小学校）

ちょっとQ教えて

Q 公会計ってなに？私会計ってなに？
A 公会計とは給食費の経理を市が管理することです。私会計はそれぞれの学校が単独で会計を管理することです。

Q 奥州市学校給食運営協議会ってなに？
A 保護者や地域の皆さんの中から任命された人たちと学校関係者らで構成され、学校給食の運営について協議する機関。

◎学校給食事務の透明性の向上
◎各学校の給食関係事務の軽減
◎各自治区、新市の会計処理方法は、総合的に公会計での取り扱いがより効果的と判断されたものです。運用に当たっては、私会計での利点である滞納者対策なども取り入れ、よりよい会計処理を行っていきます。

20年度からの給食費は、市内
**小学校4万1,900円
中学校4万7,600円**

で統一した金額となり、小学校4万1,900円、中学校4万7,600円です。金額の積算については、文部科学省「学校給食の食料構成」による基準量をもとに、市の18年度食料構成毎の支払い額（金額は、各自治区の平均で積算）から割り出したもので、1食当たり小学校で約241.84円、中学校で約285.02円（左図参照）。年間の給食実施回数は、小学校173回、中学校167回です。これを市学校給食運営協議会に諮り、市教育

委員会が決定しました。また、これまでどおり学校給食の保護者負担は食料費のみとし、人件費や光熱水費などの諸経費（1食当たり約313円）は市の負担とします。

4月以降も変わらず、よりよい学校給食の提供に努めますので、皆さんのご理解をお願いします。

■問い合わせ先 市教育委員会事務局 学校教育課 学校教育係（内線522）



おいしい給食で元気もりもり（白鳥小学校）

20年度の学校給食費

	1食金額(円)	年間回数(回)	年間給食費(円)
小学校	241.84	173	41,900
中学校	285.02	167	47,600

学校給食費1食当たりの積算内訳

区分	小学生（中学年）		中学生		
	基準量(g)	価格(円)	基準量(g)	価格(円)	
主食	パン	26.57	16.67	34.60	21.70
	米飯	48.00	17.20	66.00	23.70
牛乳	牛乳	206.00	40.80	206.00	40.80
副食	小麦粉およびその製品	5.00	1.30	9.00	3.20
	イモおよびでんぷん	38.00	14.00	44.00	16.00
	砂糖類	3.00	1.00	4.00	1.10
	豆類	6.00	3.10	6.00	3.10
	豆製品類	20.00	6.80	22.00	7.10
	種実類	3.50	1.50	3.50	1.50
	緑黄色野菜類	23.00	9.20	35.00	12.00
	その他の野菜類	70.00	9.60	82.00	12.00
	果物類	32.00	20.00	40.00	22.00
	きのこ類	4.00	4.50	4.00	4.50
	藻類	2.00	3.40	4.00	6.80
	魚介類	16.00	25.50	21.00	30.22
	小魚類	3.00	6.30	4.00	7.00
	肉類	15.00	11.10	19.00	14.20
	卵類	6.00	1.60	14.00	4.00
	乳類	4.00	3.40	6.00	4.40
	油脂類	3.00	1.50	4.00	2.00
だし		1.80		2.00	
小計		200.27		239.32	
加工賃（パン＋米飯）	41.57（12.27＋29.30）		45.70（15.90＋29.80）		
合計額（小計＋加工賃）		241.84		285.02	

・基準量は、文部科学省「学校給食の食料構成」による
・主食回数は、米飯給食週4回・パンまたはめん類週1回実施

学校給食1食当たりの負担関係

負担者	内容	奥州市での1食当たりの試算金額(円)
奥州市	・施設と設備に要する経費 ・施設と設備の修繕費 ・職員に要する給与、その他人件費 ・光熱水費	312.89
保護者	・上記以外の学校給食に要する食材費	小学校 241.84 中学校 285.02

岩手県内の学校給食費1食当たりの平均金額（18年度）

単価	211～220円	221～230円	231～240円	241～250円	251～260円	261～270円	271～280円	281～290円	291～300円	301～310円	311～320円	321～330円
小学校（施設数）	2	6	10	23	14	11	3	0	0	0	0	0
中学校（施設数）	0	0	1	0	4	5	20	8	18	1	4	5

※20年度から統一する予定の本市の金額は、18年度の県内の平均的金額になっています